



日本共産党 県議員

きだ 結 YUI

2014 年春季号
発行: きだ結県会報告編集委員会

県会だより

〈きだ結県会議員事務所〉〒658-0081 神戸市東灘区田中町3丁目11-1

TEL.078-412-4435
FAX.078-412-4436〈日本共産党県会議員団控室〉TEL.078-341-7711
FAX.078-351-3139

きだゆいプロフィール●1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。●95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者救援に従事。●2011年4月、県議員に初当選●地域 Facebook・Twitter発信中
では保育所父母の会会長をつとめる●渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人 きだ結ぶるぐ日々是好日 きだ結 検索 クリック

7月から
神戸市の

こども医療費助成制度が前進します

きだ結と日本共産党は、前回の県議選で中学卒業までこどもの医療費無料化を掲げ、その後も住民のみならずと一緒に求めてきました。その結果、兵庫県内の市町で大きく前進（41市町中20市町が中学卒業まで無料）、今年7月から神戸市も拡充されます（表）。

引きつづき、久元市長の公約でもある“中学卒業まで医療費無料化”の速やかな実施と、兵庫県内で住む所にかかわらず無料になるよう、県制度として“中学

卒業まで医療費無料”を求めています。

自己負担（1日1医療機関等ごと）

	現 行	拡充後
2歳まで	無 料	無 料
3歳～小3	1日 800 円上限	1日 500 円上限
小4～中3	2割負担	

福祉・教育
狙い撃ちの

県行革プランの撤回を求めて奮闘

昨年8月から今年1月まで開かれた「行財政構造改革調査特別委員会」で、きだ結は改悪案の撤回を求め、計6回の委員会全てで質疑、意見表明を行いました。

	改悪内容	影響人数	予算削減額
一人親家庭医療費助成	所得制限を全国でも特に厳しいランクにし、対象者を半分に減らし、自己負担限度額も引き上げ	46,000人	4.4億円
老人医療費助成	低所得者Ⅰの方の自己負担割合を1割→2割に 低所得者Ⅱの方の自己負担限度額を引き上げ	13,000人 8,000人	1,300万円
単位老人クラブ補助	補助単価を引き下げ (但し、健康体操の実施・普及促進費 500円/月が新設。単価引き下げ分は神戸市が補てん)	—	1,400万円
私立高校生徒授業料軽減補助	国の就学支援金が充実した分、県単独の授業料軽減補助を削減	36,000人	4,900万円

た。

福祉・教育狙い撃ちの行革計画に対し、委員の中で唯一、正面から撤回を求め奮闘しました。自民・民主・公明・みんなの各党の賛成で強行されましたが、引き続き削減の撤回と拡充を求めがなくなります。

行革特別委員会で質疑
(1月14日)東日本大震災、
原発事故から3年…

被災者支援を強め、脱原発の政治決断を



被災者支援、脱原発を (右から、きだ、松本、西両市議。3月11日)

東日本大震災、福島第一原発事故から3年。今なお避難生活を余儀なくされている方が27万人、震災関連死は3,000人を超え、避難生活はがまんの限界となっています。また、作業員の方々の必死の作業にも関わらず原発事故は収束せず、放射能汚染水問題も深刻です。今政府がすべきことは再稼働と輸出ではなく、事故収束、汚染水問題の解決、そして稼働原発ゼロのまま廃炉へ「即時原発ゼロ」の政治決断ではないでしょうか。